

平成25年行政事業レビューシート

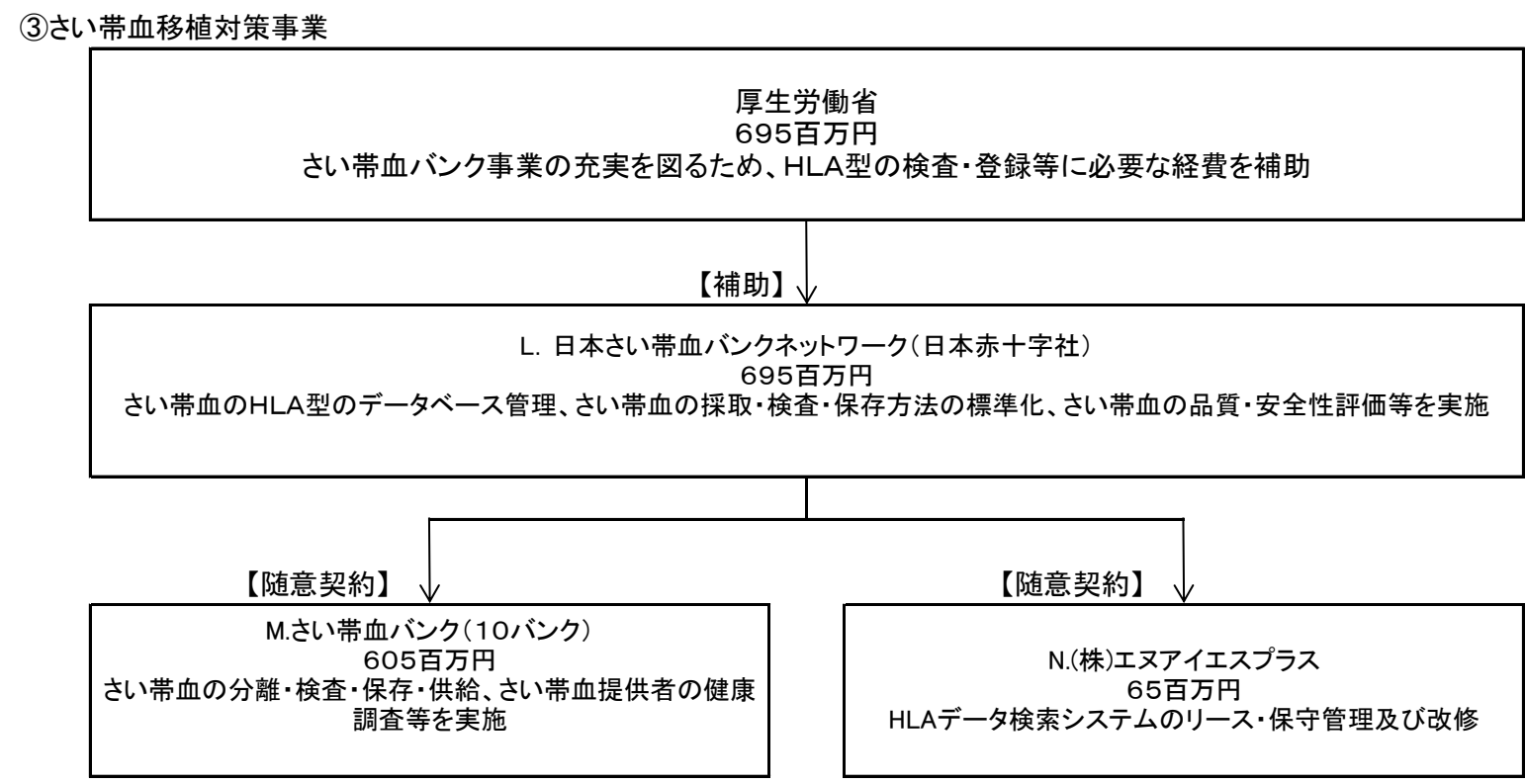
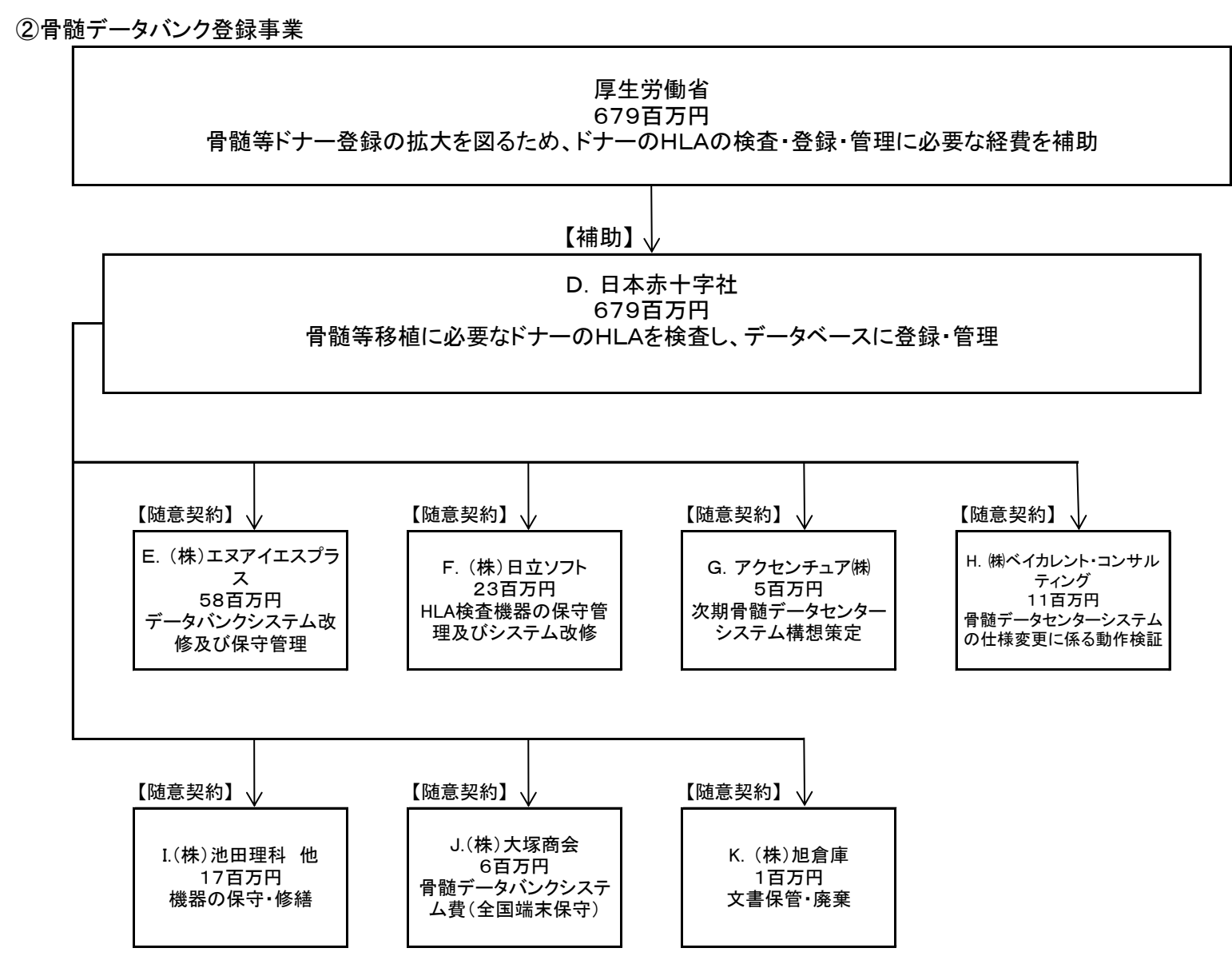
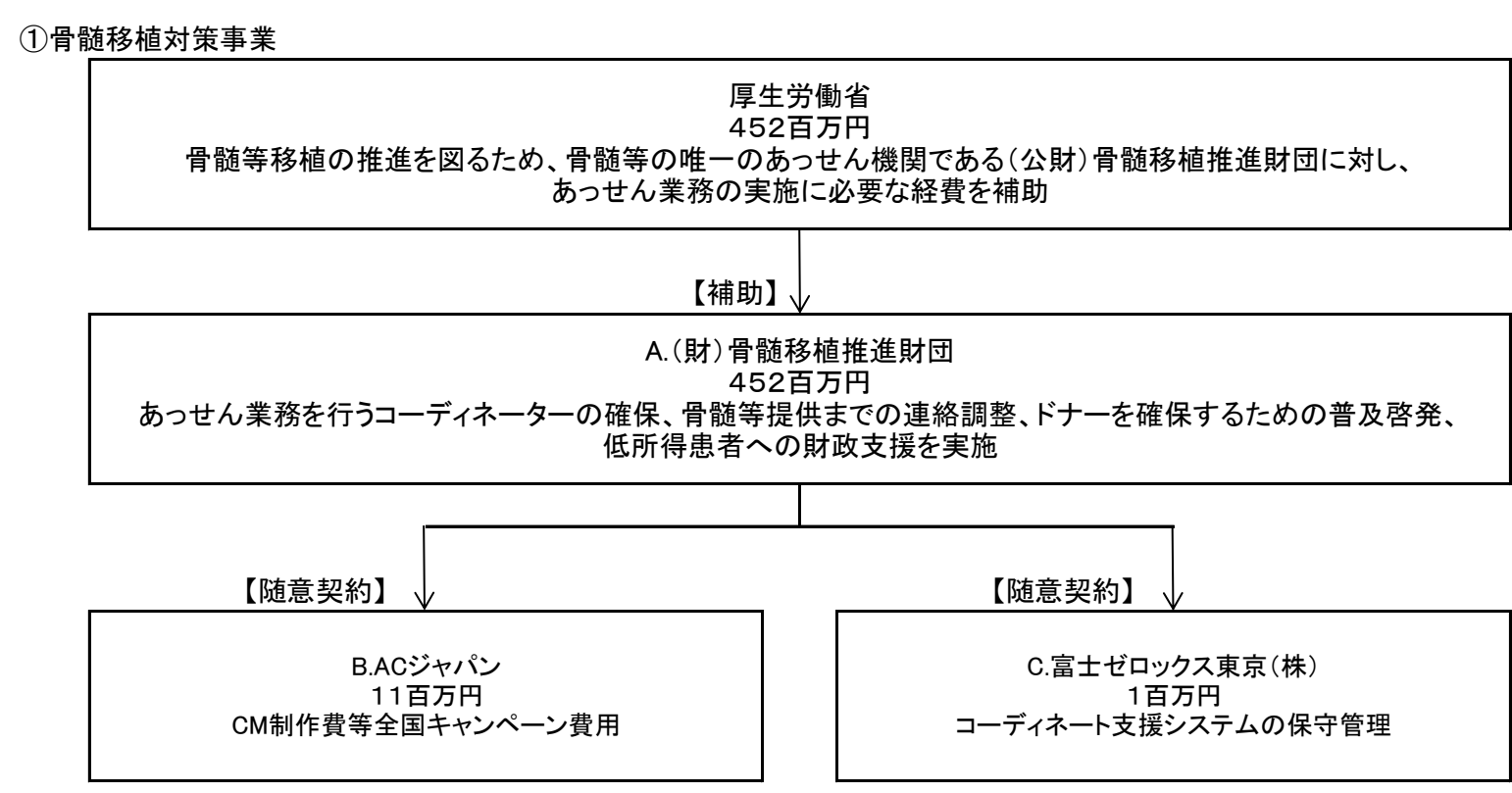
(厚生労働省)

事業名	移植対策（造血幹細胞）事業		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度		担当課室	疾病対策課臓器移植対策室		室長 泉 潤一		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-3 適切な移植医療を推進すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律		関係する計画、通知等	・「骨髄バンク事業の推進について」(平成3年12月18日 健医発第1462号 厚生省保健医療局長通知) ・「骨髄データセンター業務の協力依頼について」(平成3年12月2日 健医発第1388号 厚生省保健医療局長通知) ・「平成11年度における臍帯血移植推進事業について」(平成11年6月2日 健医発第841の2号 厚生省保健医療局長通知) ・骨髄移植対策事業の実施について ・さい帯血移植対策事業の実施について				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	白血病等の治療に有効な造血幹細胞移植を推進するため。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別紙のとおり							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	1,733	1,773	1,784	1,808	1,909	
		補正予算		53				
		繰越し等						
		計	1,733	1,826	1,784	1,808	1,909	
	執行額	1,733	1,826	1,784				
執行率(%)	100%	100%	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	①骨髄等移植ドナー登録者数 ②非血縁者間骨髄等移植実施数 ③非血縁者間臍帯血移植実施数	成果実績①	人	380,457	407,871	429,687	前年度以上	
		達成度①	%	106.5	107.2	105.3		
		成果実績②	人	1,192	1,272	1,338	前年度以上	
		達成度②	%	96.8	106.7	105.2		
		成果実績③	人	1,074	1,106	1,198	前年度以上	
達成度③		%	122.7	103.0	108.3			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	①ドナー登録会開催数 ②骨髄等ドナー新規登録者数 ③臍帯血新規公開件数	活動実績① (当初見込み)	回	3,895	4,312 (前年度以上)	3,744 (前年度以上)	— (前年度以上)	
		活動実績② (当初見込み)	人	36,727	41,920 (前年度以上)	38,060 (前年度以上)	— (前年度以上)	
		活動実績③ (当初見込み)	本	3,497	3,068 (前年度以上)	2,841 (前年度以上)	— (前年度以上)	
		単位当たりコスト		算出根拠	平成24年度の補助金(骨髄移植等事業) ÷ 平成24年度の骨髄等ドナー新規登録者 = 単位あたりコスト 701,968,000円(平成24年度) ÷ 38,060人(平成24年度) = 18,444円			
		費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
①骨髄データバンク登録事業		665	728	骨髄等提供者をデータバンクに登録する際のHLA型の検査等に係る経費の増 62				
②造血幹細胞移植患者・ドナー情報登録支援事業	31	73	「新しい日本のための優先課題推進枠」 73					
③さい帯血移植対策事業	645	610	造血幹細胞提供支援機関業務経費への一部業務移管による減 35					
(1)さい帯血保存管理業務(あっせん業務)費	601	596						
(2)さい帯血情報管理経費	25	0						
(3)日本さい帯血バンクネットワーク運営会議費	1	0						
(4)さい帯血移植等共同支援事業費	18	15						
④骨髄移植対策事業	466	468						
(1)あっせん業務関係事業費	357	359						
(2)あっせん事業体制整備費	15	15						
(3)普及啓発事業費	93	93						
⑤造血幹細胞提供支援機関業務経費	0	31						
計	1,808	1,909						

平成25・26年度予算内訳

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	白血病等の血液疾患の患者にとって、造血幹細胞移植は非常に有効な治療法であり、広く国民のニーズがあり、国費を投入すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	ドナーと患者を結びつけるあっせん事業者及び臍帯血供給事業者が必要であり、当該事業者は、公平・中立であることに加え、営利を目的とする団体であってはならず、現在は（公財）骨髄移植推進財団及び全国8つの公的さい帯血バンクが事業を行っている。		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	骨髄・末梢血幹細胞移植ドナー登録者数は近年増加傾向にあり、平成24年度末で42万人を超えており、優先度が高い事業である。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		×	骨髄移植等に必要HLA（白血球の型）データを確実に管理するため、ドナーのHLA情報の管理システムの保守業務等については、当該システム構築業者との間で契約を締結している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	造血幹細胞提供についてはドナーの善意が、移植については安全・公平に移植が行われるようあっせん体制の確保がそれぞれ必要であることから、ドナー情報の確実な管理、普及啓発等を行っており、負担関係は妥当と考える。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	ドナー登録について、献血併行型での登録会を多く開催するなど、効率的な登録が行えるよう努力している。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	事業の効率的かつ効果的な実施を図るために必要なシステムの保守等を再委託して支出しているものであり、合理的である。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	造血幹細胞移植については、ドナーのHLA情報の登録・管理、骨髄・末梢血幹細胞移植のあっせん業務、臍帯血の採取、調整保存に係る経費など必要な事業を補助対象としている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		—	—		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	骨髄・末梢血幹細胞移植ドナー登録者数は近年増加傾向にあり、平成24年度末で42万人を超えており、移植数も着実に増加している。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	骨髄ドナー登録者及び公開臍帯血の情報は、補助対象としている造血幹細胞適合サービスに登録・管理され、この情報を元に非血縁者間の造血幹細胞移植が行われている。		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	造血幹細胞移植における事業については、職員及び多数のボランティアなど、全国に蓄積されたノウハウを活用して、公平かつ迅速な事業の推進及び多くのドナー登録者の確保、臍帯血の調整・保存等、効果的かつ効率的に事業を実施している。 また、移植の公平性の確保という観点から非血縁者間の骨髄移植・末梢血幹細胞移植のあっせん業務については骨髄バンクが、臍帯血移植に必要な臍帯血の調製保存管理業務については全国8の公的バンクがそれぞれ事業を行っている。 平成24年度は、ドナー登録会の実施や普及啓発活動により、着実に骨髄等移植ドナー登録者数が増加している。今後は、より効率的、効果的に造血幹細胞移植対策事業の推進を図る必要がある。					
外部有識者の所見						
引き続き適切執行に努めること。（長崎、井出）						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	骨髄データバンクの管理や骨髄移植のあっせん、さい帯血のデータ管理等を行い、公平・迅速・適切な造血幹細胞移植の推進を図るための事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	173	平成23年	150	平成24年	122

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



※平成23年度実績を記入

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. (財)骨髄移植推進財団			F. (株)日立ソフト		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	コーディネーター等あつせん業務従事者の給与	173	委託費	システム改修及び検査機器の保守管理	23
賃金	一般コーディネーター賃金	62	計		23
患者負担金免除費	低所得患者の負担金免除	60	G. アクセンチュア(株)		
借料	コーディネート支援システムリース料、事務機器リース料、ドナー登録会会場費	39	費目	使途	金額 (百万円)
通信運搬費	郵送料、電話代	36	委託費	次期骨髄データセンターシステム構想策定業務	5
諸謝金	調整医師・最終同意立会弁護士・研修会講師・説明員への謝金	30	計		5
旅費	コーディネート活動、広報活動、研修会出席	24	H.(株)ベイカレント・コンサルティング		
委託費	ACジャパン CM制作費等全国キャンペーン費用	11	費目	使途	金額 (百万円)
	富士ゼロックス東京(株) コーディネート支援システムの保守管理	1	委託費	骨髄データセンターシステムの仕様変更に係る動作検証	11
印刷製本費	パンフレット、リーフレット、ポスター、広報誌、ドナーへの説明書	7	計		11
雑役務費	広報資材制作、インターネット業務	5	I.(株)池田理科		
消耗品費	事務用品	3	費目	使途	金額 (百万円)
その他	会議費、データバックアップ保管料	1	委託費	機器の保守・修繕	13.5
計		452	計		13.5
B. ACジャパン			J.(株)大塚商会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	CM制作費等全国キャンペーン費用	11	委託費	骨髄データバンクシステム費(全国端末保守)	6
計		11	計		6
C. 富士ゼロックス東京(株)			K.(株)旭倉庫		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	コーディネート支援システムの保守管理	1	委託費	文書保管・廃棄	1
計		1	計		1
D. 日本赤十字社			L. 日本さい帯血バンクネットワーク		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	検査技師・事務職員給与	269	推進事業費	さい帯血バンクに対する検査・保存等経費の配分	605
検査費	HLA検査費	149	人件費	事務職員給与	16
委託費	(株)エヌアイエスプラス システム保守管理、システム改修	58	委託費	(株)エヌアイエスプラス HLAデータ検索システムのリース・保守管理及び改修	65
	(株)日立ソフト システム改修、検査機器の保守	23	旅費	各種委員会の開催	6
	アクセンチュア(株) 次期骨髄データセンターシステム構想策定	5	印刷製本費	広報誌、リーフレット	1
	(株)ベイカレント・コンサルティング 骨髄データセンターシステムの仕様変更に係る動作検証	11	その他	通信運搬費、消耗品費、会議費、雑役務費	2
	(株)池田理科 他 機器の保守・修繕	17	計		695
使用料	HLA検査機器リース料、データバンクシステムリース料	97	M. 東京臍帯血バンク		
通信運搬費	郵送料、通信回線費、検体輸送費	30	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	採血管、事務用品	7	人件費	さい帯血管理従事者給与	65
印刷製本費	封筒、台紙	3	検査費	HLA検査費	51
旅費	研修会出席、会議出席	1	雑役務費	検査機器の保守点検費	8
その他	固定資産、準備消耗品	0	諸謝金	採取協力費	3
	その他データセンター管理費	2	旅費	採取施設訪問、採取技術研修出席	2
計		679	借料	さい帯血運搬用車両リース料、複写機借料	1
E. (株)エヌアイエスプラス			その他	通信運搬費、消耗品費、会議費	2
費目	使途	金額 (百万円)	計		132
委託費	データバンクシステムの改修及び保守管理	58	N.(株)エヌアイエスプラス		
計		58	費目	使途	金額 (百万円)
			委託費	HLAデータ検索システムのリース・保守管理及び改修	65
			計		65

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)骨髄移植推進財団	骨髄移植等におけるあっせん業務等	452		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ACジャパン	CM制作費等全国キャンペーン費用	11	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士ゼロックス東京(株)	コーディネート支援システムの保守管理	1	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本赤十字社	HLA検査、HLAデータの管理等	679	随意契約	

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌアイエスプラス	データバンクシステムの改修及び保守管理	58	随意契約	

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立ソフト	HLA検査機器の保守管理及びシステム改修	23	随意契約	

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アクセンチュア(株)	次期骨髄データセンターシステム構想策定業務	5	随意契約	

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ベイカレント・コンサルティング	骨髄データセンターシステムの仕様変更に係る動作検証	11	随意契約	

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)池田理科	機器の保守・修繕	13.5	随意契約	
2	(株)ユヤマ医理科	"	1.5	随意契約	
3	(株)インターバイオテクノ	"	1.2	随意契約	
4	ライフテクノロジー(株)	"	1.2	随意契約	

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)大塚商会	骨髄データバンクシステム費(全国端末保守)	6	随意契約	

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)旭倉庫	文書保管・廃棄	1	随意契約	

L.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本さい帯血バンクネットワーク	さい帯血バンクに対する検査・保存等経費の配分等	695		

M.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京臍帯血バンク	さい帯血の採取、検査、保存等の事業	132		
2	京阪さい帯血バンク	〃	98		
3	東京都赤十字血液センターさい帯血バンク	〃	89		
4	東海大学臍帯血バンク	〃	86		
5	兵庫さい帯血バンク	〃	56		
6	東海臍帯血バンク	〃	40		
7	北海道臍帯血バンク	〃	36		
8	福岡県赤十字血液センターさい帯血バンク	〃	35		
9	宮城さい帯血バンク	〃	19		
10	中国四国臍帯血バンク	〃	15		

N.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌアイエスプラス	HLAデータ検索システムのリース・保守管理	65	随意契約	
2					

【事業概要】

①骨髄等移植対策事業

事業概要	<p>1. 骨髄等のあっせんに関する事業 白血病等の治療に有効な骨髄移植や末梢血幹細胞移植を公平に実施するため、第三者機関である骨髄移植推進財団があっせん機関として骨髄移植等に係る連絡調整を行う(国際的なあっせんを含む)。また、骨髄等提供登録者(ドナー)の登録内容の定期的更新等を行う。</p> <p>2. 骨髄移植等に係る普及啓発に関する事業 一人でも多くの患者に骨髄移植等の機会を提供できるよう、骨髄等提供希望者を確保するための普及啓発事業、骨髄等提供希望者への説明を行うボランティアに対する研修事業、ドナー登録会の開催及び低所得者の患者負担金免除事業を行う。</p> <p>補助率: 定額(1/2・10/10)</p>
-------------	--

②骨髄データバンク登録事業

事業概要	<p>白血病等の患者に移植した骨髄がうまく機能するには、骨髄等提供希望者と患者の間でHLA(白血球の型)を一致させる必要がある。HLAが一致する確率は数百から数万分の1であるため、HLAの適合率を高め、移植の機会を公平に確保するには、広く国民から骨髄等提供希望者を募り、多くのHLAを登録し、患者への骨髄等の提供に結びつける必要がある。このため、本事業では、骨髄等提供希望者のHLAを検査し、データバンクへの登録・管理を行っている。</p> <p>補助率: 定額</p>
-------------	---

③さい帯血移植対策事業

事業概要	<p>さい帯血移植は骨髄移植と同様に、白血病等の重い血液疾患に対して有効な治療法である。本事業では、無償提供されたさい帯血のHLAを検査し、データベースに登録・管理するとともに、さい帯血を-196℃の液体窒素中で凍結保存し、必要とする患者に供給している。一人でも多くの患者を救うため、より移植に適した細胞数の多いさい帯血を保存しつつ、安全なさい帯血移植実施体制の整備を行っている。</p> <p>補助率: 定額</p>
-------------	---

【実施状況】

①骨髄等移植対策事業、②骨髄データバンク登録事業

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・骨髄バンクのドナー登録者数: 429, 687人(平成24年度末現在) ・骨髄バンクを介した骨髄等移植実施数: <ul style="list-style-type: none"> 1, 338例(平成24年度実績) 15, 389例(平成24年度末までの累計)
-------------	--

③さい帯血移植対策事業

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・さい帯血公開数: 25, 385個(平成24年度末現在) ・さい帯血バンクを介したさい帯血移植実施数: <ul style="list-style-type: none"> 1, 198例(平成24年度実績) 9, 627例(平成24年度末までの累計)
-------------	---